

整理番号 2021P-404

補助事業名 2021年度 緊急的な対応を必要とする事業

(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策) 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 栄光会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

超高齢社会の現在、高齢者施設は地域の利用者の皆さまやそのご家族の生活になくしてはならないものとなっています。ましてや、新型コロナウイルスの感染拡大によるリモートワークや学校休業などもあり、そのサービスの必要性はさらに高まっています。よって、この未曾有のコロナ禍の中でも、各種サービスを利用者に対して継続的に提供できるようあらゆる対策を行うことが、いま高齢者福祉施設に課せられた重要な目的となっています。

継続的にサービスを提供するには、施設での感染拡大防止と職員の確保が重要となります。当法人は特別養護老人ホームのみならず、デイサービスなどの各種サービスも実施しており、ひとたび感染者が発生すると多くのサービスの提供を停止せざるを得ません。また、感染の有無にかかわらず感染者に接触した職員は長期にわたる自宅待機をせざるを得ず、感染していればさらにその職員に接触した職員も自宅待機となります。その影響はかなり大きく、勤務体制の変更や法人内での職員の確保を行っても、サービスの維持継続は困難です。また、入所者の方々は重症化するリスクが高く、感染が判明した場合は生命に影響を及ぼす場合もあります。よって、当法人では新型コロナウイルスの感染防止について、当初からあらゆる対策を行ってきました。

そのなかで、感染の疑いがある方が施設内に入るのを未然に防ぐための体温の計測を職員が手持ちの機器で計測しており、接触による感染リスクと業務負荷が高いなどの問題がありました。よって、施設内に入る方が自ら体温を自動で計測できるサーモカメラ（非接触型体表温度感知カメラ）の設置が急務とされていました。

そこで、競輪の補助事業を活用し、サーモカメラを導入しました。これを出入り口全てに設置することにより、コロナ感染者が建物内に入ることを未然に防止し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底します。

(2) 実施内容

サーモカメラを各施設の主な出入り口4か所に設置。施設内に入る全ての方が自ら体温を計測できるようにして、発症者の建物内への侵入を未然に防止し、徹底的な感染予防対策を行います。

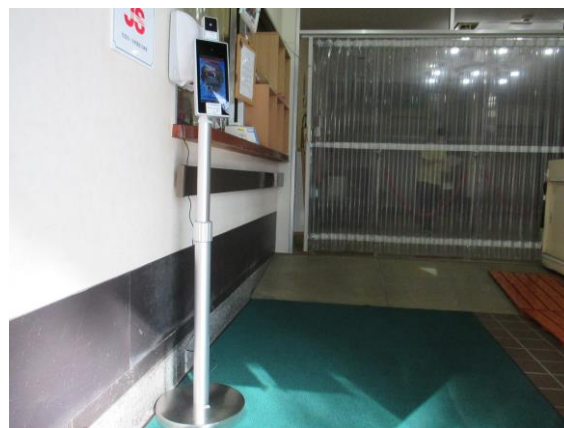
きよみず苑
正面玄関風除室



きよみず苑
エレベーター前



東旺苑
正面玄関窓口



東旺苑
東側出入口



本体の全体写真



2 予想される事業実施効果

サーモカメラはモニターがとても目立つため、施設内に入る方は興味を持って機器に近づき、自ら計測を行っています。職員が窓口まで行く必要が無いので感染リスクの軽減と業務省力化となり、利用者やご家族の方もスムーズに計測されていて好評です。また、計測は一瞬で行えるため、職員も出勤時はもちろん、業務中も積極的に計測しています。

設置したサーモカメラは一定以上の体温を計測した場合は警報音が鳴る設定のため、発熱者がその場で判明することとなり、施設内に感染の疑いがある方が入ることを未然に防ぐことができます。これにより、施設内での新型コロナウイルスの感染リスクが大幅に減少し、法人の運営する全事業において感染防止対策の徹底につながります。